

記入例

受付印

※処理事項	審査	承認	交付	受領印
			リットル	申請者住所

平成 ××年 ×月 ×日 滋賀県○○県税事務所長 様	免税軽油の使用に係る事務所又は事業所所在地	滋賀県○○市××町10		
	業種名	使用者証番号	農業	法人の場合は代表者印
	免税軽油使用者証の番号及び氏名(名称)印	滋賀県 第 ××-×-000× 号	滋賀 太郎	印
	この申請に回答する係及び氏名並びに電話番号	申請についての連絡先が、申請者名と異なる場合は連絡先の氏名と連絡先を記入 (局 番)		

免税証交付申請書

機械・車輛又は設備名(番号)	No. 1 ○○トラクター	No. 2 △△コンバイン	No.
	No.	No.	No.

所要数量合計	500	所要数量計算期間	××年 4月 1日から ××年 3月 31日まで
	リットル		

希望する販売業者名及び所在地	免税証の種類	枚数	数量	※処理事項
販売業者名 ○○石油○○給油所 店舗名(所在地) ○○市△町1-23 免税軽油を購入する給油所の名称と所在地を記入	リットル券		リットル	
	100	4	400	
	50	2	100	
	計		500	

免税証の種類は、1L、5L、10L、18L、20L、50L、100L、200L、500L券等があります。

参 考	前回交付を受けた免税証		左のうちの使用量		(イ) - (ロ)
	計算期間	数量(イ)	期間	数量(ロ)	
	○○年4月1日から	リットル	××年4月1日から	リットル	リットル
	○○年3月31日まで	400	××年3月31日まで	400	0
前回交付を受けた免税証に記載された販売業者以外の販売業者から免税軽油の引取を行った場合の販売業者の氏名または名称				数量	
△石油××給油所				10	リットル
免税証に記載されていない販売業者から免税軽油を購入した場合に記載					

【免税証】交付申請書の記入例

所要数量計算の

ウラ面

別耕作面積（1反=10

面積はa単位で記入してください。
 1町=100a
 1反=10a
 1畝=1a
 100㎡=1a

【A表】 耕地面積と

●耕地面積

計		内・自作地（所有地）および小作地…	内・基本的機械作業…
田	200	150	50
畑	10	10	

◎面積等の記入内容に

●作物別耕作面積

区分	作物	作付面積の見込	備考
水田	米	100	耕うん（○）、刈取・脱穀（○）
水田	麦	70	耕うん（○）、刈取・脱穀（○）
水田	大豆	70	※大豆コバイは【B表】に記入
畑作等 （水田で野菜・シガ等を作る場合・休耕田を含む）		10	作物名 大根
		30	作物名 休耕田管理
			作物名

小作地は免税軽油の対象に含まれますが、受託地については、全部受託されており、かつ契約書の添付がなければ、申請できません。

営農組合等に作業を任せる場合は○をしないでください。

【B表】 A表[耕うん、刈取脱穀]以外の作業があれば記入してください。

作業内容	作業面積	作物名	使用機械名（付属機械）	軸馬力	年間稼働時間
あぜ塗り	100	米	トラクター（あぜ塗り機）	PS 35	10 時間
肥料散布	250	米、麦、大豆、野菜	トラクター（マナスプレッター）	35	30

耕うん・代かき、刈取脱穀以外の作業（例：うね立て、溝付け、弾丸暗渠、等）があれば記入してください。

大豆コンバイン作業もB表に記入できます。

トラクター、コンバイン以外の農機械（ホイールローダー、バックホー、ハーベスタ他）で行う作業についても、B表に記入してください。

免税軽油の引取り等に係る報告書提出期限の特例適用者指定申請書

滋賀県中部県税事務所長 様

申請者氏名

押印

氏名 **滋賀 太郎**

（法人にあっては、その名称および代表者の氏名）

電話 表面と同一



滋賀県税条例第58条の12第2項の規定による指定を受けたいので、同条第3項の規定により次のとおり申請します。

免税軽油使用者証番号	表面と同一
報告対象期間	表面交付申請書により交付される免税証の有効期間と同一
免税証の交付申請数量	表面と同一